

2021 年度事業報告及び貸借対照表

(1) 2021 年度事業報告 (2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

2021 年度は新型コロナウイルス感染予防のために制約された行動環境下で、“感染防止に向けた協会ガイドライン”を遵守して協会会員および外部参加者の健康と安全を第一に取り組んで来ました。

その結果、活動機会・参加人数とも計画を大幅に下回ることになりましたが、森の保全活動、生き物の保全活動、そして環境教育活動を 3 本の柱として、札幌市都市環境林、支笏湖周辺国有林、野幌森林公園道有林において継続して活動を行いました。この一年間、コロナで中止や延期になった活動は澄川 14 回、有明第二 3 回、西野第二 1 回、支笏湖周辺 8 回でした。

広報を目的とした市民活動への参加は 11 月に「さとらんど」で行われた「道民森づくりの集い」に出展しました。

また、2022 年度は当協会のベース活動地である澄川都市環境林にかかる第 4 次 5 か年計画が最終年度となることから、澄川都市環境林を今後どのような森にしていくのか、所有者である札幌市と協議を始めました。

この 1 年間の活動を以下の通り報告します。

現場での延べ活動機会は 96 機会、延べ参加人数は 1,400 人、内部企画は 22 機会、延べ参加人数は 236 人でした。

2021 年 3 月 31 日現在の会員数は 65 名です。

【札幌市都市環境林】

〔有明第二都市環境林〕機会 4 回 参加延べ人数 40 名

札幌市 30 林班 9、10、12～16、22、23 小班面積 14.0 ha では、今までのギャップ地のササ刈り、歩道・作業道整備、風倒木・枯損木の整理、下草刈り、見回り等を継続して行いました。

〔澄川都市環境林〕機会 74 回 参加延べ人数 1,188 名

札幌市 55、56 林班 88.58ha では、『澄川環境林基本計画』の第 4 次 5 か年計画をベースに、引き続き育林実践活動と教育支援活動を継続しています。

3 年目を迎えた右精進川の水質・水生生物生息調査は 5 月、7 月、9 月の三回実施し、今までの数値との比較を行いグラフに整理し、大きな変化が無いことを確認しました。

森ボラ協議会にかかる活動内容は第三号議案で報告します。

〔西野第二環境林〕機会 0 回 参加人数 0 名

再開した西野第二環境林での活動は、コロナ対策で中止としました。

【道有林】

〔野幌森林公園道有林〕 機会 9 回 参加延べ人数 111 名

2018 年 9 月の台風で被害を受けた野幌道有林（空知管理区 169 林班 54・57 小班、1.33ha）は北海道空知総合振興局と 5 年間の覚書を交わし、『野幌の森再生事業』としてスタートし 2 年目を迎えました。この再生事業は近自然森づくり協会の岡村先生の「生態学的混播・混植法」のコンセプトに基づいて進めています。2021 年度は 57 小班 0.5ha の整備に着手し、6 月・7 月・8 月は優先自生稚樹の選定と防草シートの設置及び下草刈りを行い、植栽個所を整備しました。2020 年度植栽の 54 小班では下草刈りと食害防止網の補修を行いました。9 月には親子森林教室の関係者で植樹祭を開催し、高木・亜高木・低木と合わせて 21 樹種 160 本の苗木を、防草シートを用いたユニットに植栽し、食害防止網を設置しました。10 月には、会員による植樹とツリーシェルターを設置しました。

【国有林】

〔野幌森林公園国有林〕 機会 2 回 参加延べ人数 6 名

野幌森林公園国有林（42 林班ふ小班 1.10ha）は石狩森林管理署と 2018 年に 5 か年計画の協定が結ばれ 4 年目を迎えました。

7, 8 月に標準列のトドマツと広葉樹のツボ刈り及び胸高周長と樹高測定をしました。植栽した木は自生樹種や笹と混在して多様性のある森に成長しています。笹やダニに悩まされ活動は難航しました。

〔支笏湖復興単独事業地〕 機会 0 回 参加延べ人数 0 名

支笏湖復興の森（5218 林班、1.12ha）の育林活動は協会の単独事業として継続していますが、活動は 2020 年度に引き続きコロナ禍で中止しました。

〔支笏湖 水明郷の森〕 機会 3 回 参加延べ人数 41 名

水明郷の森（5465 林班 17.82ha）は、多面対策事業に移行して 3 年目を迎え、活動内容は第三号議案で報告します。

〔支笏湖 CGC 烏柵舞の森〕 機会 1 回 参加人数 4 名

烏柵舞の森（5334 林班 22.72ha）は、2019 年から（一財）北海道 CGC みどりところの基金の支援を受けて 4 年目となります。コロナ禍で延期していた活動は 10 月に 1 回、1, 2, 3 区外周の植栽列と作業道の下草刈りを行いました。

〔支笏湖 復興コンサ百年の森〕 機会 0 回 参加延べ人数 0 名

コンサ百年の森（5460 林班、11.63ha）は 13 年目となりますが、コロナの関係で中止しました。

〔支笏湖 復興道新ぶんぶんの森〕 機会 1 回 参加延べ人数 3 名

北海道新聞社ぶんぶんの森（1355 林班 7.09ha）は 2009 年に植栽して 13 年目を迎えました。コロナ過で通常の活動が出来ませんでした。9 月に胆振東部森林管理署、北海道新聞担当者、当協会幹事が現地の状況を確認し、今後の育林管理について協議しました。自生したカラマツの生長を確認するために植栽地に標準列を設定し、間伐率を変えて胸高周長、樹高を計測し、成長量の差を確認することとしました。

【教育支援・その他】

〔親子森林教室・森しり隊活動〕機会7回 参加延べ人数123名

6年目となる親子森林教室は、2021年4月から森しり隊員25名（継続6名、新規19名）と17家族の保護者の参加でスタートし、コロナ禍対応にて延期やプログラムの内容を変更しながら進めてきました。特に活動の中では参加者の感染予防対策に注意を払い、マスク、手洗いの励行と3密にならない様な対応を心掛けました。

雨天順延で4月25日開催となった第1回教室は開校式を終えた直後に雨で中止としました。第2回目は緊急事態宣言のために予定を2週間遅らせて6月27日に開催し第1回に積み残した植菌を行いました。第3回目は計画通り7月11日に下草刈り、木工、ホタル観賞を行う事が出来ました。第4回目も緊急事態宣言の影響で遅れて10月3日に野幌道有林で植樹祭として開催し、植栽地を「親子の森」と命名しました。10月17日の第5回目は「秋の森の大運動会」と称してスタンプラリー方式で森を歩きながらノギリ体験、腐葉土観察などの活動を楽しみました。第6回目は2月13日に冬の森の観察、整理伐体験をしてソリ遊びを楽しみました。第7回目最終回は3月13日に、樹液を採取し、マイリーフを作り、修了式では隊員全員から1年間の感想を発表してもらいました。最後にオリジナルの終了証書を贈って、コロナと天気に悩まされながらも活動に手ごたえを感じて1年の活動を終わりました。

〔澄川南小学校〕機会13回 参加延べ人数69名

2020年度はコロナの影響で全て中止となりましたが3密に配慮しながら5月の4年生の森の観察会を皮切りに澄川環境林で10回、学校で3回の総合学習支援を行いました。2021年度は”澄川の森の生き物の話”と清掃活動を5年生で取り入れゴミが環境に及ぼす影響にも触れました。2月、3月の活動はコロナの影響で中止となりました。

2021年度は3～6年生の生徒798名、先生39名、合計837名の参加となりました。

〔幌南の森〕機会0回 参加延べ人数0名

7月に予定していた幌南の森活動は、コロナの影響で中止としました。

1 森林保護・育成活動まとめ（多面対策事業を含む）

上段計画

下段実績

活動地名	面積 (ha)	実施内容	作業目的	回数	参加 延べ 人数	摘 要
都市環境林 有明第二 (札幌市 30 林班)	14.00	笹地還林植栽 針広混交林育林	倒木処理 食害防止網設置 生長調査	7 4	105 40	多面対策事業
都市環境林 澄川 (札幌市 55, 56 林班)	88.58	澄川環境林基本 計画に基づき巨 木の森を目指す	整理伐、キノコ栽 培、薪作り、ホタ ル生息環境保全	88 74	1,500 1,188	活動拠点基 地、多面対 策事業
都市環境林 西野第二 (札幌市 199 林班)	4.42	ニセアカシアの 除伐、郷土樹種 の保護	整理伐 ニセアカの萌芽 処理	1 0	15 0	
野幌森林公園 道有林 (空知管理区 169 林班 54.57 小班)	1.33	風倒被害地復興 針広混交林育林 管理	地拵え、下草刈 り、植栽、食害防 止網の設置	10 9	150 111	野幌の森 再生事業
野幌森林公園 国有林 (42 林班ふ小班)	1.10	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	1 2	10 6	
国有林支笏湖 復興の森 (5218 林班)	1.12	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	1 0	15 0	育林管理継 続
国有林支笏湖 水明郷の森 (5456 林班)	17.82	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 植栽 育林管理	4 4	60 41	生長調査継 続、多面対 策事業
国有林支笏湖 CGC 烏柵舞の森 (5334 林班)	22.72	台風被害地復興 針広混交林植 栽、育林管理	植栽 下草刈り 人力地拵え地区 の整備	6 1	90 4	植栽作業継 続
国有林支笏湖 コンサ百年の森 (5460 林班)	11.63	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	1 0	15 0	育林管理継 続
国有林支笏湖 ぶんぶんの森 (1355 林班)	7.09	台風被害地復興 針葉樹育林管理	下草刈り	1 1	15 3	育林管理継 続
その他	幌南の森、マチなかNPO、道民森づくりの 集い			3 1	30 7	
計				123 96	2,005 1,400	

2 教育支援・その他

上段計画

下段実績

場 所		回数	参加延 べ人数	概 要
親子森林教室 “森しり隊”	澄川環境林	7	140	自然体験学習
		7	123	
澄川南小学校・総合学習 支援	澄川環境林・校内学習	12	60	自然観察会、清掃活動、記念 植樹、ネームプレート作成
		13	69	
幌南小学校・自然学習	藻岩山幌南の森	1 0	10 0	遊歩道整備、
計		20	210	
		20	189	

(注) 上記活動の回数および延参加延べ人数は「1. 森林保護・育成活動(多面対策事業を含む)」のそれぞれの活動地に含まれています。

3 内部企画

1. 自主企画			2. 冬季セミナー他		
日程	企画名	参加延 べ人数	日程	企画名	参加延 べ人数
5月	理事会(書面議決:5月21日)	11	11/30	会員例会:森ボラと澄川の森の これからを考える	25
		11			28
5月	総会(5月31日委任状51名)	20	12/17	講習会:普通応急手当講習I	20
		6			21
8月	納涼会(8月10日)	15	1/20	会員例会:森ボラ救急対策 講演:柿澤宏昭氏 市民による森林づくりをめぐる 最近の動き	20
		中止			19
9月	研修旅行(9月4日)	25	2/16	会員例会: 2022年度親子森林教室 講演:工藤森生氏 森林啓発活動における成功例と 失敗例	20
11月	理事会(11月8日)	11			延期
	忘年会(11月30日)	5			
通年	幹事会等(毎月+臨時)	20	3/17	会員例会: 2022年度の活動計画 講演:春日順雄氏 命を継ぐ~植物を例に	20
		25			延期
計		169	計		105
		121			68
計		271	計		
		168			

(2) 2021年度末 貸借対照表 (2022年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
【流動資産】		【流動負債】	
現金	82,985	前受金	2,002,000
預金	10,552,463		
		負債合計	2,002,000
		正味財産の部	
【固定資産】		前期繰越	8,874,034
電話加入権	22,000	当期増額	-218,586
器具備品			
資産合計	10,657,448	負債・財産合計	10,657,448

(3) 森ボラ協議会の 2021 年度事業報告 (2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

森林・山村多面的機能発揮対策事業の 9 年目に当る 2021 年度は、下記の 3 地区での活動が対象となりました。地区毎の活動内容を報告します。

【澄川都市環境林】機会 39 回、参加延べ人数 696 名 (以下、機会及び参加延べ人数は第一号議案と重複)

札幌市 56 林班 1～7、9 小班 (面積 65.14 ha) では、『澄川環境林基本計画』の第 4 次 5 ヶ年計画と整合を図りながら今までの活動を継続しています。この事業では冬季整理伐材の整理、下草刈り、ホダ木作成、遊歩道・作業道整備、木道整備、蔓切、苗畑整備等を行いました。整理伐は D-1、3、4、E-7 区を対象に行いました。モニタリング調査は継続の 3 箇所を行いました。また、5 年毎の標準木調査を A、B、C 地区で行いました。

【有明第二都市環境林】機会 4 回、参加延べ人数 40 名

札幌市 30 林班 9、10、12～16、22、23 小班 (面積 14.0 ha) では、今までのギャップ地の笹刈り、歩道・作業道整備、風倒木・枯損木の整理、下草刈り、見回り等を継続して行いました。

ギャップ地に設置した食害防止網は、設置状況、苗の生長、食害などを観察しながら補修をしました。2020 年度に網を嵩上げした効果も確認しました。又、単独で食害防止対策としてツリーシェルターの設置も行いました。モニタリング調査は 10 月に行いました。

【支笏湖水明郷の森】機会 3 回、参加延べ人数 41 名

千歳市 5456 林班 は林小班 (面積 17.82ha) では、2019 年度から多面事業により笹刈り、下草刈り、補植などの育林活動を行っています。ここは当協会が 2009 年から植栽、下草刈り等を行ってきましたが、シカ、ウサギ、ネズミなどの食害が著しく、特に広葉樹の生長が芳しくありません。

今年度も中央作業道右側を主な活動区域として、植栽列および作業道の下草刈りを行い 18、22、24、27 区の広葉樹列にトドマツ 300 本の補植を行いました。